

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和6年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（サツマイモ基腐病）を発表します。  
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/>）にも掲載しています。



## 病害虫発生予察 注意報第2号

前年と比較し、基腐病の発生が早まっています。今後、降雨による病原菌の飛散が多くなると、ほ場での発生が増加するので、発生前からの予防散布や排水対策など適正な対策に努めてください。

- 1 農作物名 さつまいも
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病 *Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman
- 3 対象地域 県本土，熊毛地域
- 4 発生量 ー

### 5 注意報発令の根拠

- (1) 本年5月20日及び21日に実施した、令和4年から追跡している定点ほ場調査（99ほ場）において、南薩地域で12ほ場、大隅地域で2ほ場、熊毛地域（種子島）で1ほ場、計15ほ場での発生を確認した（前年：118ほ場調査中13ほ場で発生）。本年は前年と比較し、気温が高く、降水量も多いことから発生が早まっていると考えられる。
- (2) 調査時点では、発生ほ場の発病株率は0.4%以下で、「コガネセンガン」等の抵抗性の弱い品種を中心に発生しており、前年発生が見られたほ場が主体である。
- (3) これから梅雨時期に入り、雨水で土壌からの伝染や発病株に形成された胞子が周辺の株へ飛散し、発生拡大を招く恐れがあるため、発生の有無にかかわらず、早急に対策を講じる必要がある。

### 6 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) 発病株は、今後、雨水により大量の胞子を周辺の株へ飛散させるため、見つけ次第、抜き取ってほ場外へ持ち出す。発病株抜き取り後の補植は行わない。
- (2) 茎葉への1回目の農薬散布は、発生の有無にかかわらず、梅雨時期前に予防散布を行う（表1，2）。
- (3) 梅雨時期に入ることから、排水状況を降雨後に再確認する。ほ場内の明きよを排水路に確実に接続するとともに、排水路の土砂等を取り除き、排水機能を確保する。なお、排水路側に枕畝を作った場合は、枕畝の途中に排水溝を設置する。
- (4) 定植する場合は、苗消毒（ベンレート水和剤またはベンレートT水和剤20）を必ず採苗当日に行い、消毒液は使用当日に調整したものを使用する（表1）。なお、前年、発生が多かったほ場では、土壌伝染による多発が懸念されるため、植付を避ける。

表1 基腐病に使用できる主な農薬 (令和6年5月22日現在の登録内容)

農薬名	希釈倍数	使用薬液等	使用回数
＜ 苗消毒 ＞			
ベンレート水和剤	500～1000倍	30分間苗全身浸漬	植付時までの処理は1回以内
ベンレートT水和剤20	200倍	30分間苗全身浸漬	植付時までの処理は1回以内
＜ 地上散布 ＞			
アミスター20フロアブル	2000倍	100～300 L/10a	3回以内 <sup>注)</sup>
ICボルドー66D(銅剤)	50倍	100～300 L/10a	—
ジーファイン水和剤(銅剤)	1000倍	200～300 L/10a	—
Zボルドー(銅剤)	500倍	100～300 L/10a	—
トリフミン水和剤	2000～3000倍	100～300 L/10a	2回以内
フロンサイドSC	1000倍	100～300 L/10a	2回以内
＜ 無人航空機による散布 ＞			
アミスター20フロアブル	12～32倍	1.6 L/10a	3回以内 <sup>注)</sup>
トリフミン水和剤	16倍	0.8～1.6 L/10a	2回以内 <sup>注)</sup>

注) 使用回数は、地上散布と無人航空機による散布と合わせた回数以内とする。

表2 ほ場での農薬等による防除対策の一例

散布時期	農薬			発病株の除去	留意点
畝立て前	フロンサイドSC 土壌処理	フリントフロアブル25 土壌処理	土壌処理なし	定植後 ↑ ↓ 畝間を 覆うま で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場の排水を良好に保つ</li> <li>・農薬散布は感染前の効果が高いため、<u>予防散布で植物を保護することに重点を置く</u></li> <li>・アミスター20フロアブル、トリフミン水和剤は連続で使用しない</li> </ul>
1回目散布 (定植21日後)	○フロンサイドSC	○フロンサイドSC	○アミスター20 フロアブル		
<b>畝間に茎葉が つく前に!</b> 2回目散布 (1回目から 14日後)	○フロンサイドSC	○フロンサイドSC	○フロンサイドSC ○トリフミン水和剤 ○銅剤 (ICボルドー66D, ジーファイン水和 剤, Zボルドー)  ※上記薬剤をローテ ション散布		
3回目散布 (2回目から 30日後)	○アミスター20 フロアブル	○トリフミン水和剤	○フロンサイドSC ○銅剤 (ICボルドー66D, ジーファイン水和 剤, Zボルドー) ○アミスター20フロ アブル  ※上記薬剤をローテ ション散布		

サツマイモ基腐病の生態と防除に関する詳しい情報は、鹿児島県 ([https://www.pref.kagoshima.jp/ag06/documents/documents/74570\\_20240315133011-1.pdf](https://www.pref.kagoshima.jp/ag06/documents/documents/74570_20240315133011-1.pdf))、農研機構 ([https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/files/stem\\_blight\\_and\\_storage\\_tuber\\_rot\\_of\\_sweetpotator04.pdf](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotator04.pdf)) をご覧ください。



鹿児島県  
サツマイモ基腐病防除  
対策マニュアル(第4版)  
令和6年3月改訂



農研機構  
サツマイモ基腐病の  
発生生態と防除対策  
(令和4年度版)